

公共デザイン研究セミナー

～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～  札幌

Guidelines for Civil Engineering Design Competition

土木設計競技ガイドライン

・同解説＋資料集 出版記念

街路、公園、駅前広場、水辺、河川空間、ダム施設、橋梁、海岸・港、公共交通施設、ストリートファニチャー、照明デザイン、リノベーション…。人々の暮らしをとりまく公共空間や公共施設のデザインにデザインコンペ方式を導入するための発注者向けガイドラインが遂に完成！

北海道地区

セミナー概要

以下の地区でも開催いたします。
(土木学会ウェブサイトにて順次詳細をお知らせします。)
東京、大阪、名古屋、仙台、広島、福岡、富山、高松

日時

2019年5月28日(火)

14:00～16:30

会場

札幌市教育文化会館 講堂

(札幌市中央区北1条西13丁目)

定員

150名(先着順)

参加費

無料

お申し込み

下記URLよりお申し込みください。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※本セミナーは、土木学会認定CPDプログラム(建設系CPD協議会認定プログラム)です。

テキスト

当日会場で講習会特価にて後日請求書払いで販売します。(現金での販売は行いません。)
講習会特価:2,500円(税込)／定価:3,240円(税込)



プログラム

14:00～14:10

【趣旨説明】久保田善明

(建設マネジメント委員会 公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドライン研究小委員会委員長
／富山大学教授)

14:10～14:25

【これからの地方整備】河崎拓実 (国土交通省北海道開発局 事業振興部工事管理課工事評価管理官)

14:25～15:15

【特別講演】「地域特性の読み方・気づき方」

八馬 智 (千葉工業大学 創造工学部 教授)

[休憩]

15:30～16:30

【ガイドラインの概要＋質疑応答】久保田善明 (前掲)

共催:(公社)土木学会／国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所／公共デザイン研究会

後援:国土交通省／北海道



『土木設計競技ガイドライン・同解説+資料集』目次

Q&A / カラー口絵 / まえがき / 相談・問い合わせ先 / 委員名簿

第Ⅰ部 原論

1. 理念
 - 1-1. これからの時代に求められる国土・地域づくり
 - 1-2. 設計競技の必要性
 2. 歴史に見る土木設計競技
 - 2-1. 土木設計競技略史
 - 2-2. 構造芸術の生きた伝統
 - 2-3. 豊かな公共空間の創造
 3. 法令面からみた設計競技
 - 3-1. 設計競技の法令上の位置づけ
 - 3-2. 品確法の規定を活用した今後の設計競技の展開の可能性
 - 3-3. 設計競技における著作権の基本概念
- 土木設計競技ガイドライン・同解説

第Ⅱ部 ガイドライン・同解説

【共通編】

1. 本ガイドラインの目的
2. 用語
3. 本ガイドラインの適用範囲
4. プロポーザル方式と設計競技方式の違い
5. 設計競技方式の「6つの基本原則」
6. デザインを競う調達方式
7. 設計競技のメリットとデメリットおよび留意事項
 - 7-1. 発注者のメリットとデメリットおよび留意事項
 - 7-2. 競争参加者のメリットとデメリット
 - 7-3. 社会全体のメリットとデメリット
8. 設計競技の適するケースと適さないケース
 - 8-1. 適するケース
 - 8-2. 適さないケース
9. 設計競技の関係主体
 - 9-1. 主催者
 - 9-2. 審査委員
 - 9-3. 競争参加者
 - 9-4. 市民・その他の利害関係者
10. 競争参加者の組織体制
 11. 各調達方式の基本的事項
 - 11-1. 調達方式の選定フロー
 - 11-2. 設計競技の各段階
 - 11-3. 設計競技方式（標準型：設計業務付帯型）
 - 11-4. 設計競技方式（チャレンジ型）
 - 11-5. 設計競技方式（アイデア公募型）
 - 11-6. 設計競技方式（デザインビルド付帯型）
 - 11-7. 設計競技方式（DBO付帯型）
 12. 説明責任
 - 12-1. 事業実施に関わる信頼性の確保と向上
 - 12-2. 審査結果の公表と審査委員の説明責任
13. 設計競技の成否
 - 13-1. 設計競技の成功と失敗
 - 13-2. 成功するケースと失敗するケース
 - 13-3. 設計競技が対象とする範囲
 - 13-4. デザインの一貫性の確保

【実施編】

1. 概要（全体作業フロー）
 - 1-1. 設計競技を含む事業全体のプロセス
 - 1-2. 設計競技のプロセス
2. 事前検討事項
 - 2-1. 実施目的
 - 2-2. 上位計画その他政策との関係
 - 2-3. 関係者との連携
 - 2-4. 設計競技の組み立て
 - 2-5. 実施範囲の明確化
 - 2-6. 設計条件と要求事項

- 2-7. 関連資料の準備
- 2-8. 工程計画
- 2-9. 予算計画
3. 手続きに関する事項
 - 3-1. スケジュールの調整
 - 3-2. 応募資格の設定
 - 3-3. 審査方法の設計
 - 3-4. 提出物仕様の設定
 - 3-5. プレゼンテーション
 - 3-6. 広報（情報発信）方法の確認
4. 審査に関する事項
 - 4-1. 審査の段階
 - 4-2. 審査基準（評価方法の明示）
 - 4-3. 審査方法
 - 4-4. 審査委員の選定
5. 契約
 - 5-1. 著作権の取扱い
 - 5-2. 賞金
 - 5-3. 設計競技終了後の設計契約
 - 5-4. 施工時のデザイン監理
6. その他
 - 6-1. 国際設計競技への対応

【分野別編】

1. 橋梁
2. 街路・道路
3. 河川・ダム
4. 海岸・港湾施設等
 - 4-1. 一般
 - 4-2. 陸側の建物やウォーターフロントを対象とした設計競技における留意事項
 - 4-3. 海岸部または海域の土木施設を対象とした設計競技
5. 砂防関係施設
6. 公園・緑地・広場
7. 駅前広場・駅舎
8. リノベーション
9. ストリートファニチャー、サイン

第Ⅲ部 資料

【書式編】

1. 関係書類・書式例
 - 1-1. 設計競技実施要綱例
 - 1-2. 設計競技募集要項例
 - 1-3. 設計競技実施に必要な様式例

【事例編】

1. 概要
2. 事例パネル
3. 事例一覧
 - 01 仙台市高速鉄道東西線 広瀬川橋りょう他設計競技
 - 02 広島南道路太田川放水水路 橋りょうデザイン提案競技
 - 03 新潟駅駅舎・駅前広場 計画提案競技
 - 04 (仮称) アイランドシティ中央公園基本計画提案競技
 - 05 TOKYO LIGHTS 銀座・京橋・日本橋
/ 中央通り照明デザイン国際競技
 - 06 各務原大橋プロポーザル
 - 07 長崎駅舎・駅前広場等 デザイン基本計画作成業務
 - 08 堂島大橋ライトアップ業務
 - 09 木津川遊歩空間（松島橋～大渉橋左岸）アイデアデザインコンペ
 - 10 天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業
 - 11 出石小学校跡地整備事業（民間資金活用型事業）
 - 12 水都大阪パートナーズ 事業活動提案
 - 13 江之子島文化芸術創造センター（enoco）指定管理
 - 14 Gateshead Millennium Bridge ゲーツヘッドミレニアム橋
（全286頁）

《公共デザイン研究セミナー開催予定》 ※詳しくは土木学会ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.jsce.or.jp/>

- | | |
|---|------------------------------------|
| 〔東京会場〕開催日：2018.10.31 / 場所：日本大学 駿河台キャンパス | 〔広島会場〕開催日：2019.1.16 / 場所：RCC文化センター |
| 〔大阪会場〕開催日：2018.11.14 / 場所：大阪市中央公会堂 | 〔福岡会場〕開催日：2019.1.24 / 場所：JR博多シティ |
| 〔名古屋会場〕開催日：2018.11.26 / 場所：ウィルあいち | 〔富山会場〕開催日：2019.4.22 / 場所：富山県民会館 |
| 〔仙台会場〕開催日：2018.12.18 / 場所：せんだいメディアテーク | 〔高松会場〕開催日：2019.5.9 / 場所：e-とぴあ・かがわ |

